

月隈小学校改築工事設計者基本設計プロポーザルの審査結果について

1. 審査結果

・最も適した設計者:M グループ

(建築設計者)

株式会社 環・設計工房 代表取締役 杉本 泰志

(設備設計者)

株式会社 設備総合計画 代表取締役 牛島 立

・次点者:L グループ

(建築設計者)

マトリックス・東畑設計共同企業体

代表構成員:株式会社 マトリックス 代表取締役 倉掛 健寛

構 成 員:株式会社 東畑建築事務所 九州オフィス 執行役員代表 河野 和久

(設備設計者)

株式会社 志設備設計 代表取締役 日高 洋司

2. 選定委員会開催日程

・第1回選定委員会

令和7年6月27日(金)

設計プロポーザルにおける審査、技術提案書評価及び求める提案課題並びに参加資格について審議を行い、審査方法など基本的な事項について決定。

・第2回選定委員会

令和7年7月31日(木)

配置する主任担当技術者の資格並びに管理技術者及び主任担当技術者の実績について、書類審査による一次審査を行い、二次審査対象者3者を選定。

・第3回選定委員会

令和7年10月7日(火)

二次審査に向け、ヒアリング項目について意見交換。

・第4回選定委員会

令和7年10月15日(水)

技術提案書に記載の業務実施方針及び評価テーマについてのヒアリング並びに業務価格による二次審査を行い、最も適した設計者を選定。

3. 一次審査(100点満点)

参加表明書を提出した3者をL～Nグループとして、各グループの参加資格及び「資格(主任担当技術者の専門分野の技術者資格)」「技術力(各技術者の業務実績)」の評価点の算定結果について、事務局が選定委員会へ説明を行った。

選定委員会は事務局の説明内容を確認のうえ、上位3者を二次審査参加者として選出することを決定した。

【一次審査の評価点】

順位	1位(Mグループ)	2位(Lグループ)	3位(Nグループ)
評価点	91.5点	81.25点	61.5点

4. 二次審査(120点満点)

二次審査参加者が提出した技術提案書に基づいてヒアリング(プレゼンテーション15分以内、質疑応答15分以内)を実施した。

各選定委員は、「業務の実施方針」「業務の実施体制」「業務の実施工程」「各評価テーマ」について採点した。事務局にて各選定委員の評価点の集計を行い、「資格・技術力(一次審査評価点の15%)」と「業務価格」の点数を加えたものを、各グループの評価点の合計とした。

選定委員会は、評価点合計の最も高いMグループを最も適した設計者、次に点数の高かったLグループを次点者として選定することを決定した。

【各グループの評価点】

評価項目			配点	評価点					
				Lグループ		Mグループ		Nグループ	
資格・技術力 (一次審査の15%： 小数点第三位以下切捨て)			15	12.18		13.72		9.22	
				平均	合計	平均	合計	平均	合計
技術提案	業務の実施方針	20	10.71	75	14.28	100	10.00	70	
	業務の実施体制	20	7.14	50	12.85	90	8.57	60	
	業務の実施工程	20	9.28	65	12.85	90	10.00	70	
	テーマ1	20	9.28	65	13.57	95	8.57	60	
	テーマ2	20	10.71	75	13.57	95	10.00	70	
技術提案小計			100	47.12	330	67.12	470	47.14	330
業務価格			5	5		5		5	
評価点合計 (技術提案は平均点)			120	64.30		85.84		61.36	
順位				2位		1位		3位	

※技術提案の平均点は、小数点第三位以下切捨て。

5.審査講評

Mグループ(選定者)

【業務の実施方針】

- ・空港対策地の活用、航空機騒音への対応、埋蔵文化財に係る協議など、地域特性を理解した提案が評価された。
- ・敷地の課題への方策を多方面から検討する提案が評価された。
- ・コスト管理において複数回のコスト確認を行うなど具体的で効果的な提案が評価された。

【業務の実施体制】

- ・専門性の高い協力事務所との協働、地域特性や建替え事業の特殊性を踏まえた提案が評価された。
- ・市産木材を重視した具体的で効果的な提案が評価された。
- ・ZEB Ready取得に必要な設備等の組み合わせについて複数検討するなど効果的な提案が評価された。

【業務の実施工程】

- ・埋蔵文化財に係る協議等が考慮されており、現実的な提案であると評価された。
- ・実施設計を踏まえたスケジュールを想定しており、実効性の高い提案であると評価された。
- ・ワークショップを目に見える形で成果が出やすいテーマに限定している点が効果的であると評価された。

【テーマ1】

「土砂災害等や高低差のある敷地を考慮した施設計画」

- ・敷地の特性を踏まえた複数の校舎配置案を提案している点が評価された。
- ・土砂災害警戒区域の法的制限を理解した具体的で実効性のある提案が評価された。
- ・ため池氾濫など災害や近隣への日影等を考慮している点が評価された。

【テーマ2】

「工事中における児童や職員への安全や学校運営に配慮した改築計画」

- ・仮設計画を工夫し、工事ヤードと運動場の広さを同時に確保している点が評価された。
- ・工事中、歩車分離を図るなど安全な学校運営に配慮した計画が評価された。
- ・仮設校舎の形状やグラウンドの面積を複数案検討しており、具体的で有効な提案が評価された。

Ⅱグループ(次点者)

【業務の実施方針】

- ・高低差のある敷地のため、立体的に確認できる模型やVRを活用した情報共有は有効であると評価された。
- ・設計の各段階でのコスト分析チェック、比較検討、費用対効果のあるコスト縮減の提案が評価された。
- ・将来、体育館の建替えを可能とする計画が評価された。

【業務の実施体制】

- ・設計品質の確保とコスト管理を両立できる具体的で効果的な計画が評価された。
- ・年齢・性別の違う技術者を採用するなど様々な知見や経験を生かす業務体制が評価された。
- ・仮設校舎に対する技術支援体制について具体的な提案が示されていると良かったとの意見があった。

【業務の実施工程】

- ・模型やCG等わかりやすい資料を活用し、児童・教職員と情報共有を図る提案が評価された。
- ・外構計画案を複数提案しつつ、実施設計へスムーズに移行できる提案が評価された。
- ・検討すべき事項を明確化することで業務を円滑に遂行する具体的な提案が評価された

【テーマ1】

「土砂災害等や高低差のある敷地を考慮した施設計画」

- ・限られた敷地の中で、安全性を考慮した計画が評価された。
- ・土砂災害警戒区域外の敷地にも配慮された計画が評価された。
- ・学びや交流の連携を促す施設計画が評価された。

【テーマ2】

「工事中における児童や職員への安全や学校運営に配慮した改築計画」

- ・工事期間中にすべての動線が敷地内で交差しないよう配慮された計画が評価された。
- ・利便性を向上させる既存体育館と仮設校舎の効果的な配置計画が評価された。
- ・既存体育館の改修が発生しないよう配慮した仮設校舎の配置計画が評価された。

Nグループ(非選定者)

【業務の実施方針】

- ・本市が考える建替え事業の課題を的確に捉えた現実性のある提案が評価された。
- ・工事費抑制に関する効果的で実現性のある提案が評価された。
- ・地域の避難所として配慮された計画が評価された。

【業務の実施体制】

- ・専門的・第三者的な助言を取り入れ、児童の利便性向上に資する計画が評価された。
- ・地域特性や建替え事業の特殊性を踏まえた専門チームを配置したサポート体制が評価された。
- ・イニシャルコストだけではなく、機能・性質・品質を確保した多角的なコスト提案について評価された。

【業務の実施工程】

- ・地域との協議を効率的に実施できる計画が評価された。
- ・埋蔵文化財に係る協議等が考慮されており、現実的な提案であると評価された。
- ・限られた工期の中、定期的に学校と協議を行い、相互理解しながら業務を推進する計画が評価された。

【テーマ1】

「土砂災害等や高低差のある敷地を考慮した施設計画」

- ・近年の教育情勢を配慮した施設計画が評価された。
- ・将来、多目的室を様々な用途で利用しやすいよう配慮された計画が評価された。
- ・校舎の形状について無駄が多く検証が必要ではないかという意見があった。

【テーマ2】

「工事中における児童や職員への安全や学校運営に配慮した改築計画」

- ・児童の安全な歩行動線を確保する具体的で効果的な提案が評価された
- ・工事ヤードを十分に確保し、新校舎建設に配慮した計画が評価された。
- ・学校行事や校区行事を考慮したローリング計画が評価された。